

## 7月、猛暑の中でも…



中学生レスキュー隊今年も6名。3日合同訓練に参加しました。「救急救命」に真剣に取り組めました。



抜けるような青空の下、綺麗なプールで水泳授業。1年生は中学校のプールに四苦八苦？



恒例の七夕飾り。「何かあって成績がオール5になってほしい」という願いに賛同する人が多くいました。



職場体験学習で「きつかった」のは学校？事務さん、用務主事さん、栄養士さんの仕事は大変です。

## 今後の主な予定

※新型コロナウイルス感染状況によって変更があります。

7月25日(月)～29日(金)

パワーアップ教室・三者面談

8月10日(水)～16日(火) 学校閉庁日

23日(火) 始業式

24日(水) 給食始

学校運営協議会・懇談会(生徒代表)

9月 1日(木) 口腔保健指導(1年) 危機対応訓練

5日(月) 学校朝礼 学校公開週間(保護者対象)

9日(金) 生徒会役員選挙

10日(土) 土曜授業 新入生保護者説明会

学びの教室説明会(新入生保護者対象)

学校運営協議会(和田小との懇談会)

14日(水)～16日(金) 修学旅行(3年)

28日(水) 日本フィルハーモニー出張コンサート

30日(金) 和田小学校へ出前授業

## 学校代表として参加します！

☆8月5日(金)～7日(月)

広島平和学習中学生派遣事業に3年生の小柳和奏さんが参加します。6日(土)の広島平和式典に、杉並区の代表として参加します。

☆8月12日(金)～21日(土)

杉並区中学生海外留学事業に3年生の中川尊琉さんが参加します。3年ぶりのオーストラリア海外派遣になります。

活躍を応援しています！



色々な所に配布する学校便りを「折って、封筒に詰める」作業をしています！

## お知らせ

6月1日より 事務職員として小川美代子さん  
7月15日より 栄養士として小城章子さんが着任しました。よろしくお願いいたします。

学校閉庁日は留守電対応となります。

緊急連絡は済美教育センター

03-3311-0021

まで、ご連絡ください。

よろしくお願いいたします。

今学期も、和田中学校の教育活動にご協力いただき、ありがとうございました。夏休みを前に、新型コロナウイルスの感染の急拡大が報道されています。2学期以降の教育活動への影響が心配ではありますが、「できることをできるだけ」努めていきます。今後ともよろしくおねがいいたします。



# 自主貢献

第4号

発行日 2022.7.21

杉並区立和田中学校

校長 村山 忠久

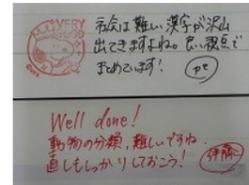
## WADASTA

和田スタと読みます。家庭学習用のノートおよびその取組をこう呼んでいます。朝学活が終わるとクラスごとに集めたWADASTAを生徒が職員室に持って来ます。持ってきた生徒に対して何人もの先生が「おはよう！」「ありがとう！」と声をかけます。日によって冊数に差があるものの、提出する生徒は多いです。何に取り組んでもよいことになっています。

つまり、生徒が自分でやるかどうかを決めます。ノートの種類も自分で決めます。A4判のノートが多いですが、B5判の子もいます。方眼紙のノートを使っている子もいれば、無地のノートの子もいます。家庭で取組む時間も決める。取組む内容も決める。ノートの使い方も決める。英単語をひたすら書いている子もいます。1文字が3センチ四方くらいの大きさに書いている子もいます。きれいにキャラクターのような絵をかく子もいます。数学の計算をしている子もいます。調べ学習をしている子もいます。職場体験の反省を書き綴っている子もいます。自分で考えて自分で判断して進めているのです。まさに主体性を育むことにつながっています。



毎朝、職員室に届くノートの山



「全教員が全生徒の担任」としてコメントしています。

そして感心することがもう一つあります。先生たちは自分のクラスの生徒のノートでなくてもコメントを書いています。「よく調べてあります。先生も知らなかったの勉強になりました」「絵が上手です。プロ級ですね」「Q&Aの形式で書いてあるのがいいですね」などです。子供たちが「取り組んでよかった」「提出してよかった」「またやろう」と思えるコメントを短くても書いていることです。このような短いコメントですので先生たちも持続できます。

生徒は継続して取り組む習慣が身につく、またノートを職員室に運んでくる生徒との先生との挨拶などのコミュニケーションや、ノートに書き込まれたコメントのやり取り等を通して生徒と教員との信頼関係の構築にもつながっていると考えています。

定期考査前の数学の授業のことです。一般的によくありがちなのは、問題演習ですが、生徒はタブレット端末を見てはノートに一生懸命に書いていました。タブレットに映っていたのは、検索して調べたようなものではなく、参考書の記述のように前の章のまとめとして生徒がまとめたものでした。その生徒はこれを参考にして、自分でノートにまとめたのです。この授業でもまとめ方は生徒に任せ、生徒が自分で判断して自由に書いています。タブレット端末を活用し、クラスメイトのよいところを参考にしながら学習している姿はまさに主体的に取り組んでいると感じました。テーマを決めたWADASTAだと思いました。クラスメイトのノートと比較して考えをめぐらし学んでいくことで、きっと理解が深まったと思います。

もうすぐ夏休みです。4月に立てた目標に向かって順調に進んでいるでしょうか。有意義に過ごすためには健康・安全が第一、次に目標をもち、実行することです。いつ取り組むのか、いつまでに終わるのかも含めて、自分で決めることが多くなります。また、地域の行事などにも興味をもって、ぜひ主体的に過ごしてください。

感謝申し上げます

1学期が間もなく終了いたします。今学期はコロナ禍ではありましたが、感染症対策は行いつつも実施中止等の大きな制約を受けることなく、ほぼ予定通りの教育活動を実施することができました。1年生の宿泊行事であるフレンドシップスクール、多数の保護者の方に参観していただいた運動会、授業公開、今年度発足した地域教育連絡協議会のご協力により実施できました部活動体験、地域のご協力により実施できました2年の職場体験学習、地域本部のご尽力による各種検定、放課後自習教室、ドテラなど、皆様の多くのご理解とご支援を賜りましたこと感謝申し上げます。2学期もよろしくお願いいたします。

### 「1学期を振り返って」4月に赴任した先生3名にお聞きしました。

「素直で人懐こく、しっかり相手の目を見てコミュニケーションをとることができる。」

これが、私が和田中に来て最初に生徒の皆さんに抱いた印象です。今の和田中生は、全学年が新型コロナウイルスの影響を受けながらの中学校生活しか知りません。制限の多い中での生活だったからこそ、人と人との関わりをより大切にすることができるのかもしれない、と感じています。

保健室という場所は、怪我や体調不良のほか、少し休みしたい時などそれぞれ色々な理由があって訪れます。保健室に来た時より、教室に戻る時の方が少しでも表情が明るくなるように、私自身も生徒の皆さんとの関わりを大切にしていきます。

心身ともに大きく成長する中学校3年間ですが、困った時にそっと背中を押せるような場所として、保健室という空間を整えていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。



加瀬涼子 養護教諭  
ダンス部顧問としても活躍中です！

和田中学校に着任して、早3ヶ月が経ちました。日々の中で、多くのことを和田中生の皆さんと一緒に経験できて嬉しく思っています。

和田中生の印象は、どんなことにも真剣に取り組み、自分を成長させることができる人が多いと感じています。授業では、わからない問題があっても自分なりに考えたり、友達と教え合ったりする姿がよく見られます。また、運動会ではどのようにすればクラスが団結するか、競技がうまくいくかなど、生徒が一丸となって一生懸命に考えながら取り組んでいました。言われたからやるのではなく、自ら進んで取り組むことができるのは、本当に素晴らしいことだと思います。

そんな和田中生が日々成長していく姿を見て、私も頑張らなければと強く感じています。生徒がより良い中学校生活を送ることができるよう、私も多くのことを学びながら邁進していきますので、よろしくお願いいたします。



1学年所属 英語科の伊藤悠介教諭  
1年生の英語を担当しています。

和田中学校に来てから、あっという間に3ヶ月が経ちました。何もかもが新鮮で、毎日ワクワクした気持ちで過ごすことができます。

この3ヶ月で、和田中生が何事にも頑張ろう、楽しもうとする姿をよく目にします。どの学年も活気にあふれ、普段の授業はもちろん、部活動や行事にも一生懸命取り組んでいます。特に印象に残っているのは、2年生の職場体験です。実際に働いている方の姿を見て、与えられた仕事に真剣に向き合い、全うしている姿はすごくカッコいいなと思いました。職場体験を終えての振り返りでも、「実際に職場を体験できて楽しかった」「学んだことを生かそうと思った」と頑張ろう、楽しもうとする様子が伝わってきました。

このような和田中生を見ると、魅力的で素敵な学校だなとつくづく感じます。まだまだ和田中学校について分からないことが多いですが、生徒の一生懸命に負けないよう、色々なことに挑戦していこうと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。



2学年所属 国語科 川添尚也教諭  
1・2年生の国語を担当しています。

この春から和田中に関わってくださった皆さんに「和田中生の印象は？」と伺うと、ほとんどの方が『挨拶が気持ちいい』『人懐っこくて優しい』『何事にも一生懸命に取り組む』と答えてくださいました。また、真剣に相手の話を聞こうとする姿勢も印象深いそうです。反面、『自信をもって自分の意見を言えるともっと良い』『なんでも楽しもうとするのはいいのだけれど、けじめがあるともっと良い』と、常に一緒に行動している先生方も、思わず納得できる「和田中生」像ではないでしょうか。1学期、生徒一人ひとりが、様々な場面で光り輝き、時には失敗をしながらも、その失敗を次の行動に生かしながら一歩一歩進んできました。2学期には、またあらたな輝きで、和田中を盛り上げてくれるであろうことと期待しています。



### 和田中学校の目指すキャリア教育 ～「しわせな」未来のために～

和田中学校の授業「よのなか科」、は総合的な学習の時間の名称です。「よのなか科」の第一の目的は、「よのなかについて理解し、よのなかと関わり、将来よのなかに貢献する基盤をつくる」です。

全ての活動は、「SDGs」を基盤にし、関連付けて設定しています。そして、内容は、Aキャリア教育 B協働・協力 C情報リテラシーとして、各学年で3年間を見通して計画、実施しています。7月のよのなか科はAのキャリア教育に取り組みました。1年生は「キャリアパスポート」に取り組むことで、今の自分と向き合い、これからの自分を考え、行動していこうという学習です。2年生は、職場体験学習を通して、自分の将来の進路を見つける機会としました。職場体験学習後の報告の中で「仕事を任されることにはプレッシャーを感じたが、自分がや



れることを精一杯できたことが良かった」「想像とは違った。良い経験になった。が、自分には向いていない仕事だった」と、実際に体験したからこそその率直な感想や報告がありました。コロナ禍での実施という厳しい状況の中で、ご協力いただいた事業所の皆様には感謝申し上げます。1年生

は2学期以降、「働く」ということを考える学習が始まり、来年の職場体験学習につなげていきます。

中学生のキャリア教育というと、どうしても卒業後の進路選択を外すことはできません。義務教育の9年間を終えて、その先の「生き方」の大きな選択として、進路選択をしなければならないからです。3年生は、4月から卒業後の選択肢の一つである「上級学校調べ」に取り組んできました。

7月19日(火)には、高校の先生をお招きして、「高校の先生の話聞く会」を実施しました。おいでいただいた、都立豊多摩高校、都立農芸高校、私立文化学園大学杉並高校の先生方に「上級学校を選択する時のヒント」を交えながら、高校の生活についてお話しいただきました。3年生にとって、この夏休みは、卒業後の進路選択に向けて、「行動する」時を迎えました。高校の先生方のお話も参考にしながら、進路選択に臨んでください。



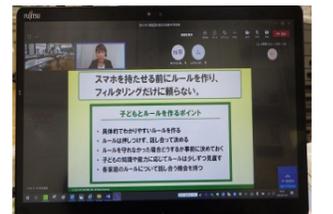
3年生と一緒に、全学年の26名の保護者の方が参加されました。「参考になった」という感想をいただきました。



NTTドコモの「情報モラル」授業に全学年、オンラインで参加。途中の話合いも活発でした。

夏休みを前にして、20日(水)には、「情報モラル」授業を実施しました。和田中生の課題でもある「生活リズムの乱れから朝起きられない・朝食が食べられない」このと原因の一つは「スマホ」「タブレット」です。『チャットをしていて』『動画を見ていて』『ゲームをしていて』という理由で、夜更かしをしている人が少なくないようです。まずは基本となるルールを決めて、「上手に使う」ことを心がけましょう。授業中の事例動画には、思い当たる人も多くいたのか、質問が各クラスから上がりました。

中学校の3年間の時の流れは、とても早いです。「一日一日が勝負」とも言えます。20年後、30年後、そしてその先の未来も、「しあわせ」であってほしいと願い、来学期も「和田中」の教育活動を実践していきます。



放課後は、教員研修も実施。事例を確認しながら考えました。